

常陸太田市立小里小学校 学校長：綿引 逸男

【実施日時】	平成20年9月3日(水)午前10:00~午後1:00
【参加者と人数】	全学年 121名
【ファシリテーター】	根本 久美子
【講師】	パーコフィ・エイキンス(ガーナ) 朴 美貞(韓国) オレリアン・バロン(フランス) アンバー・チャン(オーストラリア)
【活動内容】	はじめの式・「韓国・オーストラリア・フランス・ガーナの部屋」に分かれる。学年ごとに25分間交代・2か国の部屋を巡る(民族衣装や楽器, 食材を用いて国の習慣など)・終わりの式・高年生対象「ハートゲーム」実施。講師と一緒に給食。
【参加者の感想】	<p>ガーナでは部屋の掃除や食事を作るのは,お母さんではなく子どもがやるのが当たり前だということ。また歯磨きは木でやって,できたらおばあちゃんに見せて,だめだったらやり直しをさせられること。学校から帰ったら「やることはありませんか」と聞いて,何もなければ遊べること。ガーナの子どもは日本と比べたらすごく大変だなと思いました。でもおじいちゃんが子どもと一緒におもちゃを作ったり,太鼓を教えてくれたり楽しいこともたくさんあるということもわかりました。</p> <p>朴さんは見たことがないきれいな民族衣装を着てきてくれて驚きました。お父さんやお母さん,先生をととても尊敬していることを教えてくれました。また,遊ぶ暇なく勉強をしていることを知り,感心しました。</p> <p>オーストラリアではベジマイトという変わった食べ物があることを知りました。みんなで味見をしましたが,珍しい味に驚きました。小学校の制服を見せてもらいとてもすてきでうらやましくなりました。</p> <p>フランスではとても楽しい話をたくさん聞き,笑いがたえませんでした。どの国の人も同じ気持ちなのだと言うことがわかりました。今まで知らなかったことを数多く知ることができました。</p>
【担当者の感想】	<p>外国の方々にお話を聞いたり,一緒に給食を食べたり,触れ合ったりしたことはすばらしい体験となった。児童が日常生活でおろそかになっている,家族に対する尊敬や愛情,我慢する気持ちなどを,世界レベルで気づくことができた。「ハートゲーム」による人権・国際協力意識の養成は感動的であり,指導者の立場としても学ぶものが多くあった。講師の方々の温かいお人柄やファシリテーターの根本さんの情熱は子どもたちの心に大きな「思い」を与えてくれた。</p>

